Compass2017 羅針盤

2017.8.25(金)
No. 23

室蘭市小学校
外国語活動
巡回指導教諭
みなと小 相馬和俊

ー巡回各校校内研修・研究会情報をお知らせしますー

巡回校研究授業の予定（その2）

- 喜門岱小学校：8月30日（水）
  - 5・6年生6名の複式学級です。担任の佐藤先生に授業公開をしていただきます。Hi,friends!1 L4 I like apples. の最終「友だちの好ききらいを予想して，インタビューをしよう」というActivityをメインの活動に行います。児童数が6名なので，クラスの友だち全員と一つ以上インタビューすることを目指して1時間の構成を考えています。
- 地球岬小学校：9月11日（月）
  - 5年生の吉村学級に授業公開をしていただきます。Hi,friends!1Lesson7 What's this? の1/4時間目公開の予定です。児童の身の回り，学校や学級にあるものの英語での言い方を知り，それらに慣れ親しむという場面になります。新しい単語が多く出てくるところですので，それらに慣れ親しむ活動を丁寧に行うところがポイントになります。
- 蘭北小学校：9月28日（木）
  - 5年1組の中村学級に授業公開をしていただきます。Hi,friends!1Lesson5 What do you like? の1/4時間目公開の予定です。最終的にはさまざまなカテゴリー（動物・フルーツ・スポーツなど）で，「何が好きか」を尋ね合う活動を行うという単元です。本時は第1時ですので，英語での色や形の言い方に出会わせるのがねらいとなります。日本語と似ているけど，英語での言い方は少し違うなというところに気付かせる活動を，どのように仕組むかがポイントです。

第14回 全国小学校英語活動実践研究大会 札幌大会 （12月8日・9日）

以前にも紹介しました標記の研究大会の2次案内が公開されました。申込開始です。札幌ですので，校内事情が許せば参加検討も可能かと思います。5会場3分科会の内容は，どれも興味深いものです。

簡単に紹介しますと，第1会場の大倉山小は「カリキュラム・マネジメントと小中連携」，第2会場の円山小は「読む・書く活動」，第3会場の幌西小は「絵本の活用」，第4会場の緑丘小は「評価」，第5会場の中央小は「教科横断型・他教科との関連」がキー・ワード，そして「補助教材・新教材の活用」が共通のテーマとなっています。
また，第1分科会は「5・6年教科化と3・4年への導入を意識した指導とカリキュラム・マネジメント」，第2分科会は「新教材・補助教材の活用とカリキュラム・マネジメント」，第3分科会は「小中連携の効果的な指導・評価とカリキュラム・マネジメント」となっており，いずれも「カリキュラム・マネジメント」が共通のテーマとなっています。
加えて，大倉山は「学級担任による指導」のみですが，他会場は「専科教員による指導」も入っているのが特徴的です。札幌市は今後「5・6年外国語の専科指導」を方向性として掲げているとの情報もあり，その辺りの話も可能であれば聞いてみたいところです。
なお，第2日目には，文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課 教科調査官　国立教育政策研究所教育課程研究センター 教育課程調査官　直山 木綿子 先生の講演があります。新学習指導要領における外国語教育・新教材についての解説を直接伺えるのは，移行措置開始前の12月という時期を考えると貴重です。
研究大会の詳細は，全小英研HPからご覧ください。